

SDGs方針	マテリアリティ			定義	2030年成果目標	2023年度行動結果報告（毎年更新）
	目的	ゴール	重点課題			
ものづくり業界の責任を果たし、社会の選択肢を広げられる企業へ	持続可能なものづくり	 12 つくる責任 つぶす責任	① 循環型ものづくり体制の構築	サステナブルな選択肢を世の中に提供するために、発想から発送まで、循環したものづくり体制を構築	飲食/化粧品/ホテル業界に対して、恒常的にアップサイクルができるプラットフォームSUS cycleを構築	<ul style="list-style-type: none"> 大手企業と協働で循環型ものづくりを実現、事例2つHP掲載 SUS cycle専門ページ更新 (https://sus.i-goods.co.jp/suscycle)
			② 廃棄問題軽減	生産過程の不用品や不良品、納品商品の大量廃棄による環境汚染を軽減するために、廃棄物を再利用したサービスを構築	廃棄物を利用した商品販売を通じて、地球にどのくらい良い影響をもたらしたか数値化	<ul style="list-style-type: none"> SUS amenityリリース後2年間で、約31,000kgのプラスチック量削減に貢献(2023年) SUS coffeeリリース後1年間で、約35,000杯の抽出後コーヒー粉を再利用(2022年)
			③ 環境汚染軽減	過剰梱包や輸送による環境汚染を軽減するため、エコな梱包の企画・開発やCO2排出量の削減に取り組む	(1) サステナブル梱包の納品件数を全体の10%へ (2) 一人当たり電気使用量を削減 (3) 国際認証を取得した提携工場との取引を増加	<ul style="list-style-type: none"> 23年1月「第2回 化粧品マーケティングEXPO」でエコ梱包を訴求 展示会用に梱包チラシを制作 20社以上のお客様へエコ梱包をご案内 社内の電気使用量を計測 社内の認証として、ISO14001 / ISO9001を取得 国際認証を取得した提携工場との取引を、年間5社増加
	企業のSDGs推進体制を支える新規事業づくり	 9 産業と社会基盤の発展をつくる	① メディア発信	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsに関するメディア発信を実施	自社ウェブサイトを通じた情報メディアへ	<ul style="list-style-type: none"> SUSPROコラム全38本配信 「エコ アメニティ」「エコ アメニティ おしゃれ」「SDGs 化粧品」で検索順位1位 「サステナブル オリジナルグッズ」で検索順位2位
			② ものづくり支援	他社ないしは社会のSDGs推進度を高めるため、SDGsなものづくり支援を実施	(1) エコ素材の取り扱いを100種類以上へ増加(2021年度20種類)	<ul style="list-style-type: none"> 年21日間の海外工場視察を通じて、エコ素材候補の調査を実施 お客様に素材の候補として20種をご案内
					(2) SDGs関連の受注割合を15%以上へ(2021年7%) (エコ素材を用いたフルオーダー制作事例、OEM事例)	<ul style="list-style-type: none"> サステナブルなものづくりを200件以上納品 23年3月「第6回 販促EXPO【春】」に出展
					(3) ホテル向けエコアメニティの取り扱いを100種類以上へ増加(2024年度37種類)	<ul style="list-style-type: none"> ホテル向けエコアメニティの取り扱いを全37種類掲載 ホテル向けオリジナルアメニティ制作サービスページ更新 https://sus.i-goods.co.jp/amenity/original ホテル向けオリジナルノベルティ制作サービスページ更新 https://sus.i-goods.co.jp/amenity/fulloriginal
			③ 組織支援	他社の持続可能な組織づくり支援する新規事業の構築	(1) プロモーション領域の事業探索	<ul style="list-style-type: none"> サイト、チラシ制作 / 売場受託による、お客様の販売促進(プロモーション・ブランディング向上)
					(2) ロボット事業の構築	<ul style="list-style-type: none"> ロボット取り扱い5機種追加(全15種類 / エレベーター連携ロボット取り扱い開始) 23年度展示会3回出展 <ul style="list-style-type: none"> →23年2月第51回 国際ホテル・レストランショー →23年9月「FOOD STYLE Japan 2023」 →23年11月「スマートレストランEXPO 2023」
	(3) 上記4つ以外に、10分野ブランド立ち上げ 3ブランド3億円 / 1ブランド10億円の達成	—				
	パフォーマンスを発揮できる環境づくり	 8 働きがいも経済成長も	① 働きがいの向上	第三者機関を持って働きがい指標を定量的に調査。さらに社内の生産性向上のための施策を推進。	(1) 5年連続「働きがいのある会社認定」 (2) 社内のDX化の更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度GPTW主催「働きがいのある会社」ランキング 従業員数25～99人部門 16位を獲得 2年連続ランクイン 営業管理ツールの導入 / 仕組み化促進 資料のフォーマット整理
			② 働きやすい環境づくり	心理的安全性の高い職場環境の構築とカフェスペースでの健康推進を通して、「心も身体も健康」な環境を構築	(1) 心理的安全性の高まる組織づくりで離職率10%を維持	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日に、30分の朝礼を実施 IGU(勉強会)を週3回実施 経営方針発表会を年2回実施 ラフルールサーベイでのアンケート調査を毎月実施
(2) アイグッズカフェを通じた健康経営の推進					<ul style="list-style-type: none"> 健康食品の調査と発注リストの見直しを実施 カフェの取り組みを見える化するボードの作成 	
③ 女性の活躍			女性が活躍できる環境を整える	(1) 管理職社員の育成体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の育成研修の実施 	
				(2) ライフステージが変化しても働きやすい制度・環境構築	<ul style="list-style-type: none"> 社内託児所利用 ライフワークコース移動実績あり 	